

# 「イメージをもたらす音楽の秘密」

## ～ 場面を音楽で表そう ～

本題材で育成する資質・能力

(学校) 主体性, コミュニケーション能力

- 1 日時 令和5年10月4日
- 2 学年 第1学年1組 (男子14名 女子14名 合計28名)
- 3 場所 本館3F 音楽室
- 4 単元について

## ○ 教材観

本題材は、中学校学習指導要領音楽〔第1学年〕A表現(3)創作ア、イ(イ)、ウを指導事項として位置付け、〔共通事項〕と関連させながら指導をしていく。

題材の「イメージをもたらす音楽」とは主に映画音楽のことであり、これらの音楽は映像やストーリーを一層明確にし、聴衆にわかりやすく伝えるためにつくられたものである。音楽を形づくっている要素や構造の働きを感じ取ると同時に、それらによって自分の内面に生まれる様々なイメージや感情を関わらせながら根拠をもって自分の言葉で説明できるようにすることで互いの音楽感を高め、より深く音楽のよさや美しさを味わう力を身に付けさせる題材である。

## ○ 生徒観

本学級の生徒は、音楽の授業に対して非常に前向きに取り組むことができる。9月の最初に行ったアンケートでは、「音楽の授業が好きである」という問いに74%の生徒が「よくあてはまる」「当てはまる」という肯定的評価をしている。また、「音楽の授業では、音楽を聴いてなぜそう感じたか、理由を考えながら鑑賞し、感想などを書くようにしている」という問いには59.2%の生徒が「よくあてはまる」「あてはまる」と答えており、鑑賞の際に音楽的な根拠をもとにして感想などを書く姿勢が見える。

しかし、「イメージを音や音楽で表現する方法を知っている」という問いについては、「全くあてはまらない」「あてはまらない」「わからない」と回答した生徒が60.6%となっており、なぜそう感じたか、理由を考えながら聴くことはできていても、知覚したことと感受したことの結びつきが弱い。また、「創作に興味がある」に肯定的に答えた生徒が36.5%と少なく、音楽を創作するハードルを高く感じている生徒も多いため、作りやすく取り組みやすい課題に挑戦させたい。

## ○ 指導観

指導に当たっては、知覚したことと感受したことを関わらせて考えられるように指導をするとともに、音や音楽からイメージを生み出すためにはどのように表現したらよいのかということについて気付かせたい。また、図形楽譜等を用いることで、楽譜が苦手な生徒でも取り組みやすいよう表現の簡略化を図り、創作に対して「難しそう」と感じている生徒の不安を取り除いて、主体的に創作活動ができるように指導していく。

## 5 学校が育成を目指す資質・能力

本校が教育課程全体を通じて育成を目指す資質・能力は、「表現力, コミュニケーション能力, 主体性」である。この目指す資質・能力を育成するためには、各教科・領域等の授業における「展開場面」

において、生徒が主体的に活動している時間の質と量を高めることが重要である。更に、生徒が主体的に活動するためには、「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」が不可欠であると考え、研究を重ねている。

本題材においても、本校では「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」を行い、少人数班で考えを何度も練り直させ、思考したことをミニホワイトボードに表現した後全体へ発表させるスタイルをとっている。

	資質・能力	意欲・態度	知識・スキル		
		主体性 (自己を認識する力、 自分の人生を選択する力)	コミュニケーション能力 (表現する力)		
授業の展開の場面で(ミニホワイトボード等を使用して)	レベル1	○課題に対して、自分の考えを持ち、取り組もうとしている。	(書く・話す・表現 speak) ○自分の考えや意見を、自分のことばで表現することができる。	(聞く) ○相づちを打ちながら、途中で口をはさまず、きくことができる。	(やりとり) ○話を聞いて質問することができる。
	レベル2	○課題に対して、自分の考えを持ち、自ら進んで取り組もうとしている。	(書く・話す・表現 tell) ○自分の考えや意見を根拠を挙げて、相手を意識しながら、適切な方法で表現することができる。	(聴く) ○相手の話の組み立てや構造を考え、話の意図や要点を整理しながらきくことができる。	(やりとり) ○話を聞いて、内容を深めるために、質問ができる。
	レベル3	○自ら課題を見つけ、自分の考えを持ち、よりよい方法を選択し、自ら進んで取り組もうとしている。	(書く・話す・表現 talk) ○自分の考えや意見を、根拠を挙げて分かりやすくまとめ、目的や場に応じて、適切な方法で論理的に表現することができる。	(訊く) ○相手の考えについて、根拠の信頼性を判断しながらきき、話された内容と自分の意見をふまえて共通点や疑問点を明確にし、相手にたずねることができる。	(やりとり) ○話を聞いて質問をした後に、自分の意見を述べ、内容をさらに深めることができる。
	レベル4	やりたいことを自ら見つけ、分析し、(大人のカも借りながら)自分たちで実行できる。	少数意見を尊重しながら、臨機応変に対応し、話し合い活動ができる。		

## 6 題材の目標

○音の重なり方や反復、変化などの音楽の特徴について表したいイメージとかかわらせて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽を作るために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身につける。

○音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、創作表現を創意工夫する。

○音素材などの違いによって生み出される雰囲気やイメージの変化に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作活動に取り組む。

7 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
<p>・表したいイメージと音楽の特徴との関わりについて理解している。</p> <p>・創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な課題や条件に沿った音素材の選択や組み合わせなどの技能を身につけている。</p>	<p>・音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、思いや意図をもって創作している。</p>	<p>・音楽から得られるイメージと音楽の特徴との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に創作の学習活動に取り組むことができる。</p>

8 指導計画 (全4時間)

教科・領域の本質的な問い

- ・音楽をつくることの良さは何だろうか。

過程	時間	学習内容	重点	記録	評価規準	資質・能力 (評価方法)
	1	「ジョーズのテーマ」などの映画音楽を参考に、音楽を形作る要素とそれによって生みだされるイメージとのつながりを知る。	知	○	自身が知覚した音楽の諸要素と感受したイメージとを結びつけて鑑賞できている。	【知識】(ワークシート)
<p>題材を貫く問い</p> <p>・イメージを音や音楽で表現するには、どのような表現をすればいいのだろうか。</p>						
	2	<p>・イメージを音で表現する方法を考え、図形楽譜で表現する。</p> <p>・いくつかの映像の中から音楽で表現したいものを選び、映像から表現したいイメージを考える。</p>	思	○	イメージを音や音楽で表現する方法について理解し、自分なりの方法で表現することができる。	【思・判・表】(ワークシート, 行動観察)
	3	<p>映像のイメージを表現する音楽をグループごとに創作する。</p> <p>【本時】</p>	技主		イメージを音楽で表現するための創作活動に主体的・協働的に取り組んでいる。	【主体】(行動観察)
	4	どの映像を表現した音楽かクイズ形式で発表し、自分たちが創意工夫した音楽がどのようなイメージを与えるか知る。	主		自分のグループやほかのグループの発表を通して、音楽の特徴とイメージとの関わりに関心をもち、より良い創作活動へつなげようとしている。	【主体】(行動観察, 振り返り)

題材を貫く問いの終結

- ・音素材や音楽を形づくる要素を変化させて、イメージを音や音楽で表現することができる。

9 本時の展開

(1) 本時の目標

○尾道の街を紹介する映像に音楽をつけ、街のイメージを伝える音楽をつくろう。

(2) 本時の評価規準

音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、主体的・協働的に創作活動に取り組むことができる。

(3) 準備物

- ・教科書・クロムブック

(4) 学習の流れ（3時間目／全4時間）

学習活動	指導上の留意事項 (○) 予想される生徒の反応 (・) 支援を要する生徒への手立て (◆)	評価規準〔観点〕 ★資質・能力【評価方法】
<b>1 前時までの復習 [10分]</b>		
音の強弱や速度が変化するとイメージがどのように変化するか確認する。 イメージを音で表現する方法を確認する。	○「ジョーズのテーマ」のE-Fの音の速度や強弱を変えるなど、前時までの内容を思い出させる。 ○知覚したことと感受したことが結びつくような問いを行う。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     予測される生徒の考え                      ・強弱が弱くなったからささやいているみたい                      ・速度が速くなったので追いかけているよう                 </div>		
<b>2 課題の確認 [5分]</b>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     学習課題 尾道の街の映像に音楽をつけよう。                 </div>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ねらい 表現したいイメージを音や音楽で表現することができる。                 </div>		
自分のグループが選んだ映像を確認する。 ○ループリックの提示 お題を隠したまま他のグループの前で発表し、イメージが伝わるように創作していくことを確認する。		<div style="border: 1px solid red; padding: 2px; color: red; font-weight: bold;">ICTの活用</div>
<b>3 創作 [30分]</b>		
イメージの表現に必要な音素材を選ぶ。 <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; color: red; font-weight: bold; display: inline-block;">思考を深める学び合い</div>	○表現したいイメージを明確に持たせ、イメージに合う音素材を選べるように助言する。	<div style="border: 1px solid red; padding: 2px; color: red; font-weight: bold;">ICTの活用</div>

<p>グループで話し合いながら，映像のイメージを表現する音楽を創作する。</p> <p>映像の流れに沿って音を出しながら図形楽譜に書き起こす。</p>	<p>○音素材を聴く時間を十分に確保する。</p> <p>○グループでイメージの共有ができているか，適宜確認する。</p> <p>◆ワークシートを見返させ，イメージを表現する方法や図形楽譜の書き方を振り返らせる。</p> <p>○タブレット等に録音するなど，適宜進捗を確認させながら活動させる。</p>	<p>★主体（行動観察）</p>
<p>○振り返りを書く。（5分）</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>生徒の振り返りの例</p> <p>今までに学習したイメージを表現する方法を使って創作をすることができた。</p> <p>イメージにより近づけるために音の出し方を工夫できた。</p> </div>	

ねらいに対する評価規準を示すルーブリック（パフォーマンス評価）

尺度（評点・レベル）	記述語
A（理想的）	表したいイメージを明確に持ち，イメージを音や音楽で表現する方法を生かして音素材や音の反復・変化などを試行錯誤しながら創作表現を創意工夫している。
B（合格）	表したいイメージを明確に持ち，イメージを音や音楽で表現する方法を用いて創作表現を創意工夫している。
C（乗り越えさせたい実態）	表したいイメージを持ち，創作表現を創意工夫している。

（5）板書計画

單元名

ねらい

学習課題

図形楽譜の例

電子黒板  
(パワーポイント)